

平成 30 年度

## 県内助産師のネットワーク作りとキャリアアップをはかる事業

本事業は、県内の助産師活動の連携や相互の浸透を図る助産師のネットワーク作りと、助産師活動をさらに活性化することを目的として、講義にグループワークや実技を組み込んだ研修会を開催しています。本年度の研修会を7月8日（日）に開催しました。

<テーマ> 健康教育の企画運営力の向上をめざして

### <産むぞクラス>の立ち上げから実践まで

講師：今村優子先生 特定非営利活動法人日本医療政策機構



講義の様子



初産婦(役)との電話の対応場面



講師の実演

赤ちゃんが生まれてくる場面



グループワーク

#### <研修会の様子>

研修会に61名の参加がありました。内訳は、病院診療所勤務の助産師33名、助産所勤務及び地域活動の助産師11名、学生10名、他7名でした。講義では、<産むぞクラス>の立ち上げの経緯や内容の紹介がありました。また実演では、クラスを開催する助産師の自己紹介として、何年助産師をしているか・お産に対する助産師の思いなど、助産観をクラスの参加者に伝えている事の導入からはじまり、その後、陣痛が開始した初産婦が、現在の状況を電話で病院の助産師に伝え、助産師から自宅で過ごしてほしいこと、ベストタイミングで入院してほしいことなどの意味を付け加えた実演がありました。実演の後半は、入院してからどのように病院で過ごし、赤ちゃんはどうやって生まれてくるかの紹介となり、今後自施設でどのように取り組んでいくかワークを行いました。

#### <研修会のアンケートから 回収率88.5%>

「(医師や病院への)提案書、とても参考になりました。期待される効果など具体的にアピールできるようにすること、計画を数値化することは是非やっていきたい。」「改めて「産むぞ」という意識を持ってもらうために私達、助産師のかかわり方の必要性を強く感じました。」「妊婦さんが、お産楽しみ♪と思えるように工夫していきたい」などたくさんの感想や今後のクラス改編への意欲につながる研修会となりました。